

禁煙科学 最近のエビデンス 2019/07

さいたま市立病院 館野博喜

Email:Hrk06tateno@aol.com

本シリーズでは、最近の禁煙科学に関する医学情報を要約して紹介しています。医学論文や学会発表等から有用と思われるものを、あくまで私的ではありますが選別し、医療専門職以外の方々にも読みやすい形で提供することを目的としています。より詳細な内容につきましては、併記の原著等をご参照ください。

2019/07 目次

KKE263 「禁煙で血中濃度が高まる薬剤を医師は気づかずに調節せず投与している（豪州の後方視的調査）」

KKE263

「禁煙で血中濃度が高まる薬剤を医師は 気づかずに調節せず投与している（豪州の後方視的調査）」

Chui CY等、Drug Alcohol Depend. 2019 Apr 25;200:78-81. (Epub ahead) PMID: 31108404

→タバコ煙はCYP1A2などのチトクロムP450酵素の誘導や、交感神経の活性化、皮膚血流の低下、 α 1酸性糖タンパク質の産生などを介して薬剤と相互作用する。

→臨床的に問題になることは多くないが、クロザピン、オランザピン、テオフィリンはタバコ煙との相互作用が問題になることが知られている。

→これらの薬剤で安定期治療を受けている患者が禁煙環境に移行した場合、医療者は治療への影響と有害事象について考慮する必要がある。

→タバコ煙で誘導されるCYP1A2はこれら薬剤の代謝を亢進しており、禁煙により薬剤の血中濃度が上昇すると、けいれん、錐体外路症状、頻脈がみられたとする報告がある。

→ニコチン置換療法NRTはCYP1A2酵素活性に影響しないため、これら相互反応を防ぐことはできない。

→禁煙によりCYP1A2活性は2日目までに20%、7日目までに36%低下するため、1-2日以上入院した場合、重大な有害事象を生じるリスクがあるが、そのような患者の割合が調べられたことはない。

→豪州メルボルンのオースティン病院で後方視的横断研究を行った。

→400床の公立三次病院で2009年以降禁煙化されており、2015年の成人患者を調べた。

→クロザピン、オランザピン、テオフィリンのいずれかを入院前から入院中も処方されている患者で、入院する前まで喫煙していた者を対象とした。

→相互作用について認識されていたかについて、薬剤師、医師、看護師の入院時記録と、精神科依頼記録、退院サマリーを検証した。

→入院中に84人にクロザピンが、1,232人にオランザピンが、25人にテオフィリンが処方されていた。

→このうち、これら薬剤が入院前も入院中も処方されていたのは、クロザピン48人、オランザピン256人、テオフィリン16人、であった。

→これらのうち、さらに入院する前まで喫煙していたハイリスク患者の割合は、クロザピン23/48 (48%)、オランザピン66/256 (26%)、テオフィリン1/16 (6%)、であった。

→ハイリスク患者のうち、クロザピン処方例の26%、オランザピン処方例の15%は入院時に高用量が投与されて

いた。

→ハイリスク患者のうち、タバコ煙との相互作用について記録上認識されていたのは、クロザピンの6例のみであり、オランザピンやテオフィリンでは皆無であった。

クロザピン投与の2例では、感染症により入院前の喫煙量が減っており、初発のけいれんが受診契機であった。

→医療者は投与薬剤と禁煙との相互作用を考慮する必要がある。

<選者コメント>

禁煙により血中濃度が高まる可能性のある薬剤の、処方状況と医療者の認識について調べた珍しい報告です(=KKE261d)。

タバコ煙に含まれる多環芳香族炭化水素により肝臓でCYP1A2酵素の誘導などが起こり、様々な薬剤の代謝が亢進するため、喫煙者では薬が効きにくくなっていることが知られています。そのため薬効を発揮させるには、非喫煙の状態よりも多めの投与量が必要になっている可能性があります。禁煙するとCYP1A2の働きが減って薬が分解されにくくなり、効きが良くなって薬の投与量を減らせる可能性があります。減らさずに継続していると、血中濃度が高まることで副作用も出やすくなりますが、なかでもリスクが高いとされる3剤(クロザピン、オランザピン、テオフィリン)について調べられました。

<https://www.jmedj.co.jp/journal/paper/detail.php?id=1014>

入院前からこれらの薬剤を投与され、入院後も継続していた者のうち、入院後に禁煙したため副作用のリスクが懸念された者はクロザピンでは約半数に上りました。一方、医療者がこれら3剤の処方について、禁煙との相互関係を認識していた割合はわずかでした。

後方視的な一施設での調査であり、薬剤血中濃度などは調べられていない短報ですが、慢性疾患患者の禁煙治療に際し留意すべき点という意味からご紹介させて頂きました。

<その他の最近の報告>

KKE263a 「FCTC施行後に紙巻きタバコ消費量が減ったのは高所得国だけ」

Hoffman SJ等、BMJ. 2019 Jun 19;365:12287. PMID: 31217191

KKE263b 「世界71か国の1970-2015年の紙巻きタバコ消費量：研究用の客観データベースを構築」

Hoffman SJ等、BMJ. 2019 Jun 19;365:12231. PMID: 31217224

KKE263c 「電話禁煙カウンセリングの効果に関するコクラン・レビュー」

Matkin W等、Cochrane Database Syst Rev. 2019 May 2;5:CD002850. PMID: 31045250

KKE263d 「催眠療法の禁煙治療効果に関するコクラン・レビュー」

Barnes J等、Cochrane Database Syst Rev. 2019 Jun 14;6:CD001008. (Epub ahead) PMID: 31198991

KKE263e 「スペイン胸部外科学会の電子タバコ・IQOS使用に関する提言」

Signes-Costa J等、Arch Bronconeumol. 2019 Jun 21. (Epub ahead) PMID: 31235270

KKE263f 「シチシンの禁煙治療薬としてのレビュー」

Tutka P等、Addiction. 2019 Jun 25. (Epub ahead) PMID: 31240783

KKE263g 「喫煙は卵巣粘性性癌リスクを用量依存性に高める：メタ解析」

Santucci C等、Cancer Causes Control. 2019 Jun 24. (Epub ahead) PMID: 31236793

KKE263h 「喫煙によるアルドステロン亢進に関わる副腎β arrestin1についてのレビュー」

Solesio ME等、Pharmacol Res Perspect. 2019 Jun 18;7(4):e00497. PMID: 31236278

KKE263i 「ニコチン使用障害における島皮質機能のレビュー」

Regner MF等、Neurosci Biobehav Rev. 2019 Jun 14. (Epub ahead) PMID: 31207255

- KKE263j 「米国におけるメンソール使用と禁煙の関連（黒人では禁煙率下がる）：メタ解析」
Smith PH等、*Nicotine Tob Res.* 2019 Jun 17. (Epub ahead) PMID: 31204787
- KKE263k 「肺癌CT検診と禁煙介入の併用に関するレビュー」
Steliga MA等、*Transl Lung Cancer Res.* 2019 May;8(Suppl 1):S88-S94. PMID: 31211109
- KKE263l 「ニコチンの行動調節におけるグルタミン酸作動性神経伝達とBDNFの関係に関するレビュー」
Kim J等、*Int J Mol Sci.* 2019 Jun 16;20(12). PMID: 31208140
- KKE263m 「日本ではIQOSの登場により紙巻きタバコの売り上げが減っている」
Stoklosa M等、*Tob Control.* 2019 Jun 17. (Epub ahead) PMID: 31209129
- KKE263n 「電子タバコを使用している過去喫煙者は、依然依存が強く、喫煙しない自信は高く、喫煙欲求は増していない」
McNeill A等、*Addiction.* 2019 Jun 21. (Epub ahead) PMID: 31225672
- KKE263o 「喫煙によるST上昇型心筋梗塞のリスクは女性の方が男性より高い」
Palmer J等、*J Am Coll Cardiol.* 2019 Jul 2;73(25):3259-3266. PMID: 31248546
- KKE263p 「バレニクリンはけいれんを増やさない：コホート内症例対照研」
Chopra DA等、*Epilepsy Behav.* 2019 Jun 25;97:169-173. (Epub ahead) PMID: 31252274
- KKE263q 「喫煙女性は月経前症候群の割合が高い：症例対照研究」
Fernandez MDM等、*PLoS One.* 2019 Jun 21;14(6):e0218794. PMID: 31226148
- KKE263r 「妊娠中の受動喫煙と母乳育児早期終了は関連する（メタ解析）」：日本からの報告
Suzuki D等、*Sci Rep.* 2019 Jun 12;9(1):8535. PMID: 31189894
- KKE263s 「母乳栄養を受けた子は受動喫煙による肺機能低下が軽い：豪州の横断調査」
Moshammer H等、*Int J Environ Res Public Health.* 2019 Jan 23;16(3). PMID: 30678089
- KKE263t 「フィンランド20年間の環境タバコ煙曝露と慢性気管支炎・死亡率の変化」
Pelkonen MK等、*Respir Med.* 2019 Jun 10;154:34-39. (Epub ahead) PMID: 31207539
- KKE263u 「EU28か国において現喫煙者は岩盤層化しているのだろうか？」
Feliu A等、*Eur Respir J.* 2019 Jun 20. (Epub ahead) PMID: 31221812
- KKE263v 「関節リウマチ発症のリスクとなる生活習慣では喫煙が最大」
Zaccardelli A等、*Clin Ther.* 2019 May 9. (Epub ahead) PMID: 31196646
- KKE263w 「EAGLES試験の双極性障害例でのサブ解析」
Heffner JL等、*J Affect Disord.* 2019 Jun 3;256:267-277. (Epub ahead) PMID: 31195244
- KKE263x 「左島皮質卒中患者は急性期の禁煙離脱症状が軽い」
Abdollahi A等、*Drug Alcohol Depend.* 2019 Jun 7;201:178-181. (Epub ahead) PMID: 31234014
- KKE263y 「禁煙期間が長くなるほど癌患者のQOLは高まる（うつと倦怠感が減る）」
Martinez U等、*Psychooncology.* 2019 Jun 18. (Epub ahead) PMID: 31212391
- KKE263z 「退院後の自宅訪問と補助薬による禁煙介入は禁煙率を高めなかった：英国のRCT」
Thorley R等、*Addiction.* 2019 Jun 25. (Epub ahead) PMID: 31240811
- KKE263aa 「サードハンドスモーク吸入実験によるヒト鼻腔上皮細胞の遺伝子発現変化」
Pozuelos GL等、*JAMA Netw Open.* 2019 Jun 5;2(6):e196362. PMID: 31251375
- KKE263ab 「カップパー・オピオイド受容体拮抗薬に禁煙効果は見られず：RCT」
Jones JD等、*Addict Biol.* 2019 Jun 26:e12799. (Epub ahead) PMID: 31240842
- KKE263ac 「胸腺腫の発症は重喫煙および蒸留酒飲酒と関連する：欧州103例の症例対照研究」
Eriksson M等、*Cancer Epidemiol.* 2019 Jun 26;61:133-138. (Epub ahead) PMID: 31254794

KKE263ad 「加熱式タバコによる室内空気の汚染測定」

Meisutovic-Akhtarieva M等、Chemosphere. 2019 May;223:474-482. PMID: 30784754

KKE263ae 「2017年米国の年齢調整COPD有病率は現喫煙者15.2%、過去喫煙者7.6%、非喫煙者2.8%」

Wheaton AG等、MMWR Morb Mortal Wkly Rep. 2019 Jun 21;68(24):533-538. PMID: 31220055

KKE263af 「英国のニコチン製剤使用者の出費は紙巻タバコだと週£23、電子タバコだと£8、NRTだと£10」

Jackson SE等、Addiction. 2019 Jun 26. (Epub ahead) PMID: 31243842

KKE263ag 「表面増強ラマン散乱を用いた携帯型ニコチン濃度測定器の作製」

Lin B等、ACS Sens. 2019 Jun 28. (Epub ahead) PMID: 31250643

KKE263ah 「妊娠初期の喫煙者はうつや不安症状が多く禁煙しても減らない」 : 日本からの報告

Miyazaki M等、J Matern Fetal Neonatal Med. 2019 Jun 20:1-151. (Epub ahead) PMID: 31220968

KKE263ai 「加熱式タバコ煙はマウスリンパ腫解析で突然変異を示さない」 : BAT社

Thorne D等、Food Chem Toxicol. 2019 Jun 19:110584. (Epub ahead) PMID: 31228600